

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険4

国立市立国立第七小学校

平成28年6月24日 NO.26 (326)

オー君 「雨ばかりでいやになっちゃうな。」

花ちゃん 「そうね。梅雨だからしょうがないけど・・・そうだ。くよくよしていてもしょうがないから、ここでクイズをしましょう。」

オー君 「クイズ！まかせとけ。何でも答えるぞ。」

花ちゃん 「では、連想ゲームです。『梅雨』といたら？」

オー君 「梅雨といたら???アジサイだ。カタツムリ。それから水たまり。長くつ。じめじめむしむし・・・。そんなところかな。」

モンタ博士 「そうだな・・・。モンタ博士は『カビ』を連想するよ。」

オー君 「カビって、あのお風呂とかでよく見る、あの黒いやつですか。」

モンタ博士 「そうだよ。じめじめむしむしした雨の季節。気がついたら、カビがはえていたということがよくあるさ。カビは雨の季節が好きなんだよ。」

花ちゃん 「わたし、おもちゃパンにカビがはえているを見たことがあるわ。」

オー君 「そうだな。カビって、何なんだろう。モンタ博士教えてください。」

モンタ博士 「右の絵の①のように、目に見えない『ほう子』というカビの種のようなものが空気中にたくさんとんでいるんだ。」

花ちゃん 「それで、どうしてカビになるのですか。」

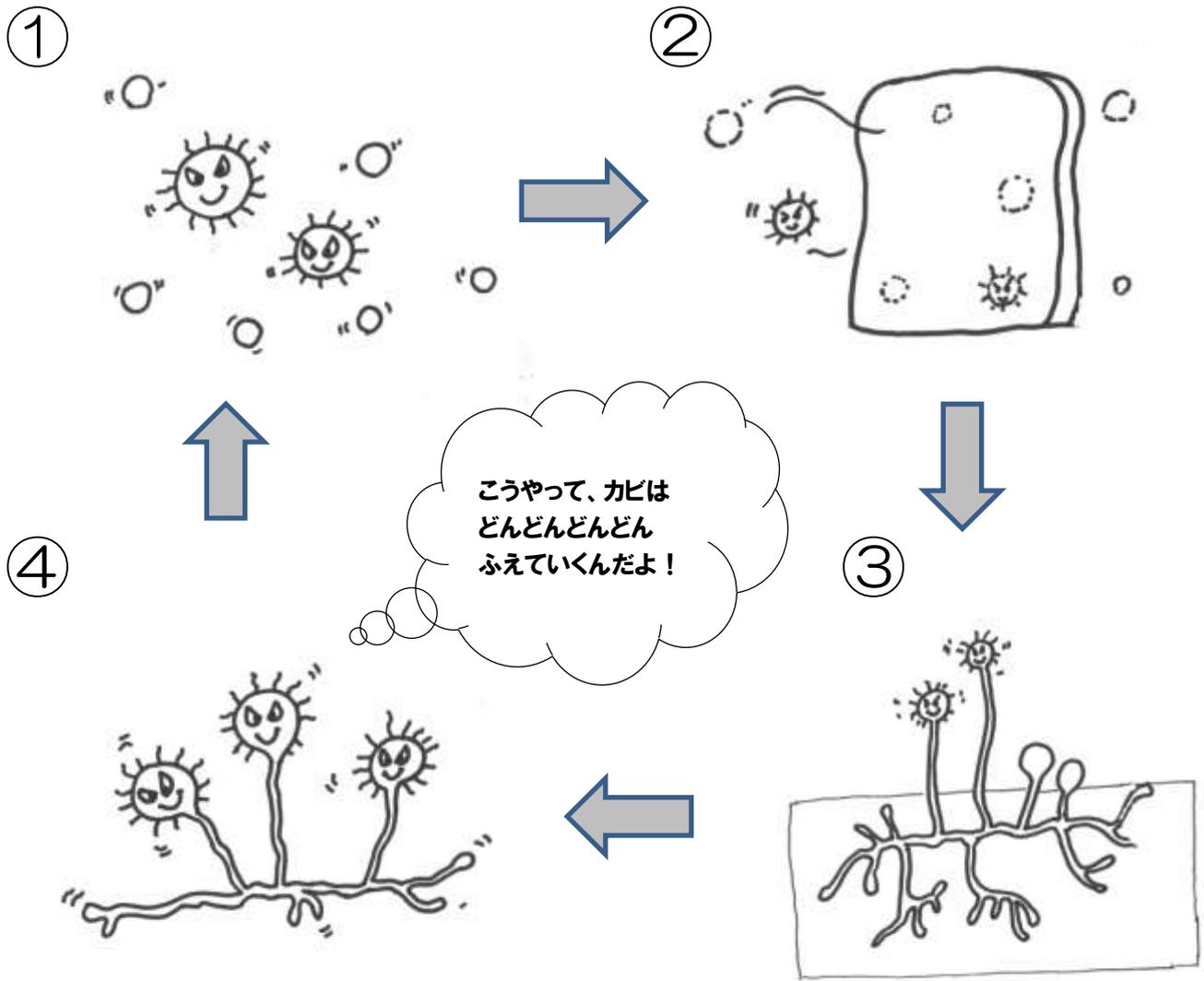
モンタ博士 「絵の②のように、食べ物など、カビの栄養になるものにくっつくんだ。」

オー君 「それで、カビがくっくとどうなるの。」

モンタ博士 「絵の③のように、気温が高く空気がしめっている時に、『きん糸』という糸のようなものを伸ばして育てていくんだ。」

花ちゃん 「きん糸が伸びるといことは、どういうことなんですか。」

モンタ博士 「絵の④のように、また『ほう子』をつくり、それを空気中にとばして、カビはどんどんふえるということなんだよ。」



オー君 「ふーん。カビってこまったやつだな。」

花ちゃん 「そうね。雨の季節、カビがはえないようにするためにはどうすればいいの。」

モンタ博士 「そうだね。お風呂場のカビを防ぐには、水分を取りのぞくのが一番さ。」

オー君 「水分を取りのぞくって、どうすればいいの。」

モンタ博士 「窓を開けて換気をするとか、かべの水滴をタオルでふき取るとかするといいんだ。それから、短い時間に家族でお風呂に入るとか、お風呂場が乾燥している時間を多くすると、カビははえにくいんだ。」

オー君 「なーるほど。今日はカビについていろいろわかって、得しちゃいました。」

花ちゃん 「ありがとうございました。さあ！オー君。明日は学校公開ね。がんばろう。」

明日は道徳授業地区公開講座・学校公開です。

1時間目から3時間目まで授業公開します。そして、4時間目には国立市教育委員会指導主事の荒西岳広先生のご講演がごございます。演題は『失敗談から学ぶ親の心得』です。聞いて得する講演会、勉強になる講演会、子育てに役立つ講演会になることは間違いありません。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。